



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



名 月

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商 工 会 議 所 内
電 話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 775 号 1974. 10. 15 (火) (雨) No.16

会報はご家族みんなで読みましょう

◆出席報告

本日の出席

会 員	数	68名
出 席	数	50名
出 席	率	73.53%

欠 席 者

阿宗君、阿部(公)君、風間君、半田君、早坂(徳)君、飯白君、海東君、石井君、黒谷君、進藤君、齋藤(信)君、佐藤(忠)君、新穂君、佐々木君、富樫君、上野君、藪田君、菅原君 計18名

前回の出席

前 回 出 席 率	69.12%
修 正 出 席 数	60名
確 定 出 席 率	88.24%

メークアップ

小池君、中野君、齋藤(徳)君、佐藤(忠)君、佐藤(衛)君、福島 R・C 笹原君、仙台 R・C 石黒君、遊佐 R・C 藪田君、新潟 R・C 五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、進藤君、高橋君、中江君、鶴岡西 R・C

- ◆点 鐘 12.30 鈴木会長
- ◆ロータリーソング 奉仕の理想
- ◆本日のビジター紹介 SAA

◆ゲスト紹介並に歓迎のことば 会長

ゲスト 鶴岡工業高校校長 菅原氏外
阿部先生

◆会長報告 第353地区大会に出席して

◆ゲストスピーチ

鶴岡工業生徒米国派遣について

◆幹事報告

例会変更

寒河江クラブ10月17日例会を秋の家族会の為、10月20日 AM 9.30 地方事務所前集合

◆米国研修について

1. 研修派遣生徒氏名 住所

- 1 上野晋一 3年
市内内外島字石名田82-6 鉄士
- 2 石塚 篤 3年
市内三瀬乙166-4 虎雄
- 3 奥田静夫 3年
市内大山2-37-31 満
- 4 齋藤太一 3年

- 市内内外島明神川原178-1 武
- 5 齋藤義則 3年
- 市内湯野沢2-2 昭二
- 6 佐藤克彦 3年
- 平田町桜林20 米子
2. 生徒付添 学校長 菅原辰吉君
教諭 阿部清三君
主事 青木政幸君

3. 研修日程

- 10月20日 10:04 P.M 鶴岡 発
- 10月21日 5:00 P.M 羽田 発
- 10月21日 10:15 A.M シスコ着
シスコ見学(午後) 一泊
- 10月22日 7:30 A.M シスコ 発 パス
5:30 P.M ロス 着
- 10月23日～10月26日 ロングビーチ
パラマウント両市内の高校に通学
- 10月27日 9:15 A.M ロス 発
- 10月28日 6:05 P.M 羽田 着
- 10月29日 6:38 A.M 鶴岡 着

4. 行事予定

- 1 すべての学校行事に参加
- 2 ロータリークラブ会合に出席
- 3 各種会合に参加

◆鶴岡ロータリークラブ会長殿

1975～76財団奨学生のオリエンテーションを兼ね、財団学友懇談会を別紙プログラム通りに行います故、貴クラブ関係の石黒敏明君菊地敏君を出席させて頂き度く本人へは貴クラブを通じて御連絡下さい。

「尚財団学友の10月11日の宿泊費は地区負担となります。」

昭和49年9月21日

国際ロータリー第353区 財団委員長
バストガバナー 庄司晋作
二伸、スポンサークラブを代表して会長
又は幹事又はその代理の方1名必ず出席して下さい。

◆第353地区 財団奨学生懇談会プログラム

場所 福島市ホテルサンルート
日時 昭和49年10月11日 午後8時(夕食後)(地区大会の前日)

1. 地区ガバナー(代理)挨拶
2. 参会者自己紹介
3. 財団奨学生の心得
地区財団委員長 庄司晋作
4. 財団学友会について
地区財団学友委員長 長谷川市司良
5. 1975～76奨学生の手続上の注意
並にスポンサークラブへの御願
地区財団奨学金委員長 坂部政夫
6. 質疑応答並に先輩元奨学生によるアドバイス
7. 自由懇談
8. 閉会(予定 21:30～22:00)

出席予定者

ガバナー(代理)
地区財団委員長
地区財団学友委員長
地区財団奨学金委員長
元奨学生
1975～76 奨学生予定者
1975～76 スポンサークラブ代表
地区幹事
地区副幹事

◆ロータリー情報委員会

張 紹淵君 山本隆男君
津田晋介君

主 題

- ◎ロータリーの最大の意義
- ◎社会奉仕活動についてのロータリーの方針
- ◎インターアクト委員会の任務概要
- ◎青少年活動週間10月15日を含む週間に催しを

◎ロータリー最大の意義

地域社会のすべての実業および専門職業、即ち市のさまざまなグループの代表者で構成されている団体の智慧というものは、普通、健全かつ保守的な判断に基づいております。

このような横断面は、絶対に衝動的ではない。視野の広い偏見のない意見を生み出します。

ここに地域社会に対するロータリクラブの最大の意義が存するのであります。

(ギルマロータリクラブのテータさん、テキサス米国)

◎社会奉仕活動についてのロータリーの方針は

1923年、セント、ルイスの大会に於て、決議23~34として知られる「社会奉仕活動に関するロータリーの方針が採択されましたが、その大綱は、次のようなことでもあります。①その地域社会に何かなすべき仕事があって、然もこれをなすべき他の団体がない場合にはクラブがこれを取りあげ「社会事業」として育成するのが宜しい。しかし、既に、②この仕事をする適当な団体がある場合には、クラブはその団体と協力してその努力を増強し、徒らに重複した努力をしないようにすべきであります。③クラブは、もし最後までやり通す意志と用意を持たぬ場合は、如何なる活動をも支援しないことを要請されています。

◎インターアクト委員会の任務

委員会の使命は3つあります。それは、①インターアクトクラブの結成に着手し②結成後は指導し、そして③助言することにあります。

◎青少年活動週間

10月15日を含む週間は、「青少年活動週間」です。クラブでは、種々の催しがありますが、その大切なことを拾い上げれば、①それは、現行の諸計画を新たな必要事項に照らして検討をすること、②クラブとしては、インターアクトやロータリーアクトが、新しい分野であるかもしれないことや、③何しろ、クラブは、他のいろいろな活動奉仕機関の現行の活動と重複しないで、むしろこれを強化するように注意しなければなりません。

④更に、地域社会青年問題調査は大変価値があることを忘れないこと。⑤そして、実施されるものはみな、青少年のためにで

なくて、青少年とともに働くという基本原則によってしなければなりません。⑥又クラブは、全会員の協同的努力を要する社会奉仕活動をすることが望ましいことです。⑦青少年事業に関する奉仕の手引きとして、なすべきだ「せよ」としてはならんこと「するな」の示唆表示がありますのでこれを参考にすることです。委員会資料のところに書いてあります。

◎国際ロータリー第353地区

1974年年次大会決議(案)

決議第1号

国際ロータリー会長代理派遣に対する感謝の件

国際ロータリー第353地区年次大会を当福島市に開催するにあたり、会長ウィリアム・R・ロビンズ氏は特に現R・I・理事原田秀雄氏を派遣されました。同氏は夫人同伴御元氣に来福され、本大会に一段の光彩を添え、かつこれを成功に導かれました。そして、この大会に出席したロータリアン及びその家族は、会長代理のメッセージに深く感銘と激励を受け、また御夫人のお人柄と暖い御友情に感動致しました。

よって、本大会はR・I・会長代理原田秀雄夫妻に対し、本大会の決議をもって記念品を贈呈し、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

決議第2号

R・I・会長ウィリアム・R・ロビンズ氏の年度目標に協力する件

ロビンズ会長は、本年度奉仕活動を推進する相応しい言葉としてRenew the Spirit of Rotaryと表現しました。どうぞすべてのロータリアンが一人残らず、至る所でロータリーの精神のために一層身を献げ、よりよい世界を造るために自分にできる限りのことを、まず自ら先んじて実行して下さいと挨拶されました。

各クラブはこの貴重な提言を体して、各自が活発な奉仕活動を展開することを誓い、積極的に協力することを決議いたしま

す。

決議第3号

直前ガバナー早坂源四郎君に感謝の意を表する件

1973～74年後国際ロータリー第353地区ガバナー早坂源四郎君は、ウィリアム・C・カーター会長の提言 A Time for Action を体し、誠実温和な人格と蘊蓄豊かな指導力により、全地区内の各クラブを教化指導されました。その功績は誠に顕著であります。よって本大会の決議をもって記念品を贈呈し、深甚なる謝意を表します。

決議第4号

ホスト・クラブ並びに協力団体に謝意を表する件

福島市において開催された1974年国際ロータリー第353地区年次大会は完全な準備の下に周到な運営により極めて成功であり、貴重な収穫を挙げることができました。これは偏に大会委員長並びにホスト・クラブである福島クラブ及びコ・ホストクラブである飯坂・二本松・福島北・保原・福島南5クラブの会員諸氏と、その家族の理解ある協力と援助によるものであり、地元福島市並びに関係官庁初め諸団体のロータリーに対する理解ある協力と援助によるものであります。よって本大会に参加したロータリアン及び家族は、福島ロータリークラブ初めこれらの関係諸団体に対し、本大会の決議をもって深甚なる敬意を表します。

決議第5号

福島市に記念品を贈呈する件

福島市は官民こぞって本大会を歓迎され、熱誠溢れる御援助を与えられました。参加ロータリアン並びに家族は、福島市御当局及び市民各位のロータリーに対する深い理解と温い御協力に対し、本大会の決議をもって記念品を贈呈し感謝の意を表します。

決議第6号

世界社会奉仕活動を推進する件

国際ロータリーは、エバンス元会長の提唱により世界社会奉仕活動を活発に行っています。当地区においても本年度はより一層世界社会奉仕活動を強化し、国際理解と親善の推進を期することを決議いたします。

決議第7号

ロータリー財団に対する協力を更に強化する件

ロータリー財団は益々活発なる活動をなし、国際奉仕に極めて重要な使命を果しつつあるので、ロータリー財団に対する協力を更に強化する為、同財団への寄附の増額に一層努力することをここに決議いたします。

決議第8号

1975年度地区年次大会を山形市に於て開催する件

1975年度国際ロータリー第353地区年次大会を山形西ロータリークラブをホスト・クラブとして山形市において開催することを決議いたします。

決議第9号

1978年度東京世界大会に協力する件

1978年度国際ロータリー大会を東京において開催することに協力することをここに決議いたします。

決議第10号

1975～77年米国東海岸地区と研究グループ交換計画を実施する件

当地区は1971～73年にオーストラリア278地区とG・S・E計画を実施し、成功を治めたことにより再び米国西海岸地区との交換を実施することを決議いたします。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。